

事務事業及び予算の執行実績
(令和 7 年度分)

高校教育課

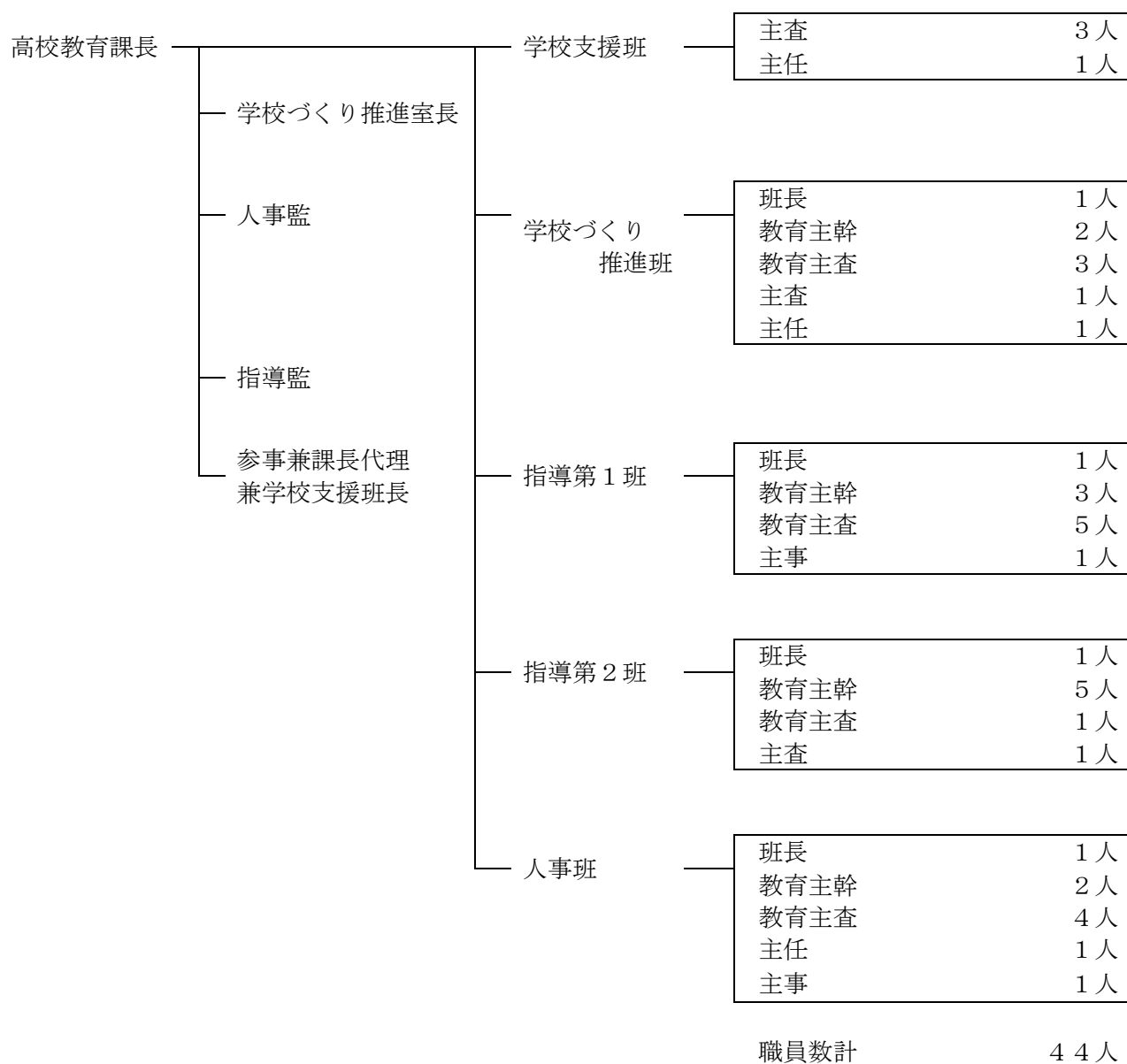
目 次

1	事務事業に関すること	
(1)	事務事業の概要	1
(2)	事業の根拠法令調	12
2	職員に関すること	
(1)	職員の年齢調	13
(2)	健康管理	14
(3)	職員配置調	15
3	予算の総括に関すること	
(1)	過年度分収入未済額調	16
(2)	預金調	18
(3)	郵券等受払調	18
(4)	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	19
4	補助金等に関すること	
(1)	委託料に関する調	20
(2)	補助金支出調	26
(3)	負担金支出調	28
5	財産に関すること	
(1)	公有財産調	34
(2)	基金の管理状況調	35
(3)	債権（貸付金等）の管理状況調	36
(4)	備品・図書調	37
(5)	主要備品調	38

事務事業の概要

高校教育課

＜組織図＞



(その他会計年度任用職員等)

職 名	人 数
外国語指導講師	1人
会計年度任用職員	13人

1 施策の体系

政策の柱…未来を切り拓く力を育む教育の実現

- 目 標…自ら課題を的確に捉え、他者との協働による課題解決を通じて、学びに向かう力・人間性を育む。
キャリア形成能力を育みながら、新しいことに食欲に挑戦することができる人材や国際社会や地域に貢献できるグローバルな人材を育成する。
一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を実施するとともに、こどもたちの個性や感性を大切にしながら可能性を伸ばす教育を推進する。
- 施 策 創造性を育む教育の推進
 - 取 組 個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化
 - 取 組 優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実
 - 取 組 高校の魅力化・特色化
 - 取 組 活力ある多文化共生社会の実現に向けた教育環境の充実
- 施 策 地域の将来を担う人材の育成
 - 取 組 社会的・職業的自立に向けた教育の推進
 - 取 組 学校におけるスポーツ・文化活動の充実と健康教育の推進
 - 取 組 グローバル人材の育成
- 施 策 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進
 - 取 組 多様性を尊重する教育の推進
 - 取 組 個別の教育的ニーズに応じた支援

政策の柱…教育環境の充実

- 目 標…学校、家庭、地域等との連携・協働を推進するとともに、地域ぐるみでこどもたちの学びを支える環境づくりに取り組む。
学びを支える教職員の資質向上や、教育D Xの推進により、学びの充実を図る。
- 施 策 地域で取り組む教育の推進
 - 取 組 社会とともにある開かれた教育行政の推進
 - 取 組 生涯を通じた学びの機会の充実
- 施 策 学びを支える基盤づくり
 - 取 組 学びの充実に向けた教育環境の整備
 - 取 組 学校施設等の安全・安心の確保と向上

2 事業の目的、計画、実績（成果）

(1) 個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化

「行きたい学校づくり」推進事業において、県内 10 地区を探究学習推進地区とし、コンソーシアム構築等による地域資源の有効活用や大学・企業等と連携した体験学習等の充実を図った。

ア しずおか高校生探究フェスタ

高校生が主体的な発表や他者との学び合いを通じて、探究的学びについて理解を深めるとともに、高校教育全体における探究的学びの質的向上を図った。（令和 8 年 2 月 1 日常葉大学草薙キャンパスにて開催）

イ 探Qラボ Shizuoka（オンラインプラットフォーム）

探究学習の更なる推進を目的として、学校と地域の協働を支える基盤（プラットフォーム）として令和 6 年 1 月から「探Qラボ Shizuoka」を運営し、「探究」をテーマにオンライン上で外部団体等が実施するイベント情報の発信や授業に役立つサイト紹介等を行っている。

(2) 優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実

D Xハイスクール推進事業費

事業費 139,878,930 円 国10/10

情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICT を活用した文理横断的な探究的な学びを強化する学校などに対して、必要な環境整備の経費を支援し、高校教育段階における高度デジタル人材や成長分野を支える人材育成を行っている。

令和 7 年度 採択校	静岡、新居、浜北西、浜松湖北、藤枝東、島田工業、掛川工業、浜名、浜松城北工業、富士東、磐田西、静岡商業、沼津東、科学技術、御殿場南、沼津工業、浜松大平台、浜松西、伊豆中央、藤枝北、富士宮北、御殿場、吉原工業
----------------	---

(3) 高校の魅力化・特色化

ア 高校教育改革民間経営力活用推進事業費

事業費 7,763,401 円 県

民間人の知見を組織経営に取り入れるため、高校の魅力化推進に向けた組織作りや経営改革、地域・企業等との連携に関する統括的なコーディネート、教職員の意識改革など、幅広い領域を戦略的にマネジメントする人材を県立高校に配置する。令和 6 年度より、高校魅力化担当官を任用して、ふじのくに国際高等学校に配置している。

イ センター配信型遠隔教育推進事業費

事業費 8,008,187 円 国・県

数学・英語等の習熟度別指導や理科・地歴公民等の専門性を持った教員からの指導を実施するため、遠隔授業の配信機能を集中化した「遠隔授業配信センター」を運営している。これにより、過疎・中山間地域等の高校においても、生徒の学習ニーズに対応した生徒の多様な教育機会を保障に向けた支援を実施している。

ウ 「行きたい学校づくり」推進事業

事業費 53,450,941 円 県

「行ける学校」から「行きたい学校」への変革に向けて、令和 6 年度から「行きたい学校づくり」推進事業を創設し、未来を創る主体的な学びや一人ひとりの個性が輝く多様な学びの実現に向けた支援を実施している。

テーマ	学校数	事業内容例
I C T活用による教育手法	9 校	・ A I 活用人材を育てるカリキュラムの完成 ・ A I ドリルによる外国人生徒の主体的授業参画
地域大学等との連続性	10 校	・ 医療人材育成に向けたコースの設置 ・ 次世代教員養成システム・カリキュラム構築
探究学習推進	10 校	・ 県内全地区における探究コンソーシアムの構築
特別な支援が必要な生徒受入れ	1 校	・ 高校と特別支援学校の共同学習（農福連携）

エ 静岡県立高等学校における在り方の検討

人口減少の進行や ICT 技術の発展など社会の急激な変化を踏まえ、県立高校の在り方について改めて検討し、「静岡県立高等学校の在り方に関する基本方針」を具現化するための「静岡県立高等学校の在り方に関する基本計画」を令和 6 年 3 月に策定したことを踏まえ、地域ごとに意見を聴取する「地域協議会」を県内 8 地区で開催し、地区ごとの高校の在り方を示すグランドデザインの作成を進めている。

(4) 活力ある多文化共生社会の実現に向けた教育環境の充実

きめ細かな生徒支援充実事業（うち、外国人生徒支援等） 事業費 18,089,747 円 国 1/3

ア 外国人生徒支援

県立高校に在籍する外国人生徒の教育に対応するため、外部支援員を派遣し、外国人生徒の適応指導や指導担当者等への助言・援助等を行った。

項目	内容
対象校	【外国人生徒選抜実施校（9 校）】 裾野、富士宮東、駿河総合、横須賀、小笠、遠江総合、浜松江之島、浜松東、新居 【外国人生徒数の多い定時制の課程（6 校）】 榛原、磐田南、浜松北、浜松大平台、浜名、新居
支援内容	・ 日本語の直接指導 ・ 教科内容理解の支援及び補助的作業 ・ 学校から保護者への連絡の通訳 ・ 生徒や保護者からの相談への対応や支援 等

イ 外国人生徒未来サポート事業

将来の進路に希望を持って学習に取り組む外国人生徒を育成するため、キャリアコンサルティング技能士及び日本語コーディネーターを支援対象校に巡回派遣した。

項目	内容
対象校	希望校に派遣 令和 7 年度：23 校（全日制 12 校、定時制 11 校）
支援内容	・ 企業情報の収集及び情報提供 ・ キャリアコンサルティング技能士と連携した個別の支援プラン作成 ・ 日本語能力検定試験の取得を目指した日本語学習 ・ コミュニケーション能力の向上を目的とした日本語学習 等

(5) 社会的・職業的自立に向けた教育の推進

実学推進フロンティア事業 事業費 34,058,287 円 県

大学や企業等と連携した高度な専門的知識のある技術者の招聘や大学での研究体験等の本物の実学に触れる機会の創出等を通じて、社会的・職業的自立に向けた教育の推進を図った。

(6) 学校におけるスポーツ・文化活動の充実と健康教育の推進

「文化の匠」高校派遣事業

事業費 5,223,450 円 県

文化庁活動指導のため、89校（特別支援学校3校を含む。）に延べ130人の専門的技術を持った外部指導者を派遣した。（主に美術部・吹奏楽部・書道部・箏曲部・茶華道部）

(7) グローバル人材の育成

ア 外国語指導講師招致

事業費 374,577,447 円 県

県立高校及び県立中学校における語学教育の充実・国際理解教育の推進を図るため、アメリカ合衆国等から外国語指導講師を招致した。

人 員	62人（文部科学省・総務省・外務省による招致）
配置先	高校教育課1人／静岡県総合教育センター1人／各高校60人

イ 国際バカロレア教育推進事業費

事業費 113,990,976 円 県

グローバル化が進展する中であって、真に国際社会で活躍できるグローバル人材を育成することを目的として、探究的学習を特色とする国際バカロレア教育を用いた学びの場を県民に提供する。導入校は静岡県立ふじのくに国際高等学校（令和6年4月開校）を予定しており、令和8年の国際バカロレア教育導入に向けて順調に準備を進めている。

ウ 世界にはばたく人材育成事業費

事業費 660,000 円

語学力、幅広い教養、問題解決力等の国際的素養を身に付けたグローバル・リーダーを育成するとともに、社会総がかりで高校生留学を促進している。

区分	内容（令和7年度実績）
高校生留学促進事業【国庫10/10】	将来国際的分野で活躍する人材の育成を図るため、高校生の留学を支援（学校単位の短期留学費用の補助11人）
英語ディベート学習	生徒の英語での表現力・発信力の向上並びに論理的な思考力、批判的な思考力の育成を図るため、英語ディベート大会等を開催

(8) 多様性を尊重する教育の推進

スクールロイヤー活用事業費

事業費 1,562,243 円

学校における諸問題の早期解消やいじめ等の未然防止を図るため、法務の専門家への相談体制を構築する。

区分	令和7年度実績
いじめ予防に関連する授業	7回
生地研における指導・助言	6回
学校法律相談（定期相談・随時相談）	47回
教職員研修等	12回

(9) 個別の教育的ニーズに応じた支援

事業費 70,558,081 円

ア きめ細かな生徒支援充実事業費（不登校）

不登校を抑制するための訪問カウンセラーやスクールカウンセラーを配置した。

イ きめ細かな生徒支援充実事業費（心のケア）

ヤングケアラー等に対する支援のためのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置した。

ウ きめ細かな生徒支援充実事業費（障害・学力保障）

障がいのある生徒や学力保障のための支援員を配置した。

区分	項目		内容
障がい	発達障がい等	生徒への支援	○コミュニケーションスキル講座 県内の高校に在籍し対人関係の構築を困難とする生徒を対象とした講座を実施する。（実受講者数7人） ○通級指導の普及 生徒の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立を図るために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。（自校通級1校、巡回通級24校で実施）
		学校への支援	○外部専門家の配置（公認心理師、精神科医 等） 高等学校に在籍する「発達障害」等、特別な教育的支援を要する生徒への教育効果等を向上させる目的で、教職員に対して専門的見地からの指導や助言を行う。 また、医学の立場から指導助言を得られる体制を確保し、学校における適切な対応・支援に結び付けている。
学力保障	学び直し支援 【国庫 1/3】		地域に在住する退職教員・大学生等の人材を活用して、放課後等に学習指導や教員の指導力向上支援、進路選択支援等の取組を行うことにより、生徒の学習意欲の向上と学力の定着を図るとともに教員の指導力向上に寄与するものとする。 （学習等支援：78校に配置 定時制生徒支援：16校に配置）
	定時制への支援 【国庫 10/10】		

(10) 社会とともにある開かれた教育行政の推進

コミュニティスクール推進事業費

事業費 8,406,000 円 県

学校と保護者、地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みであるコミュニティ・スクールを導入し、学校運営に保護者や地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めている。

(11) 学びの充実に向けた教育環境の整備

ア 教職員の資質向上

(ア) 初任者研修

新任教員に対して実践的指導力と使命感を育成するとともに、幅広い知見を習得させるため、授業力向上に向けた校内研修やキャリアデザインに応じて計画した自主研修等を行った。

(イ) 中堅教諭等資質向上研修

教諭等として10年を経験した者に対して、職務遂行上必要とされる資質の向上を図るため、複数教員と共に学び合うチーム研修等の校内研修や社会体験研修を含む校外研修を行った。

(ウ) 教員海外派遣

諸外国の教育文化等の視察により、教職への自覚を高め、国際的視野を身に付けさせるため海外派遣を行う予定であったが、研修プログラムの時期等が変更となり、学校への影響を含め検討した上で、実施を見合わせた。

(エ) 各種研修

広い視野と深い専門性を備えた教員を養成するため、大学派遣等を行った。

研修等名称	研修先等	実績
内地留学等	東京学芸大学附属国際中等教育学校（IB） 総合教育センター	2人
大学派遣	東京大学ほか	4人
大学院（教職大学院）派遣	筑波大学大学院ほか	7人
民間企業等長期派遣研修	株式会社日建設計ほか	4人
青年海外協力隊	マレーシア	1人

イ 学校の管理体制の確立

校長の指導力を高め、学校組織の確立と計画的・効率的な学校経営が推進されるよう、校長会や新任管理職研修会を開催するなど積極的な指導を行った。

ウ 教職員人事評価制度の対応

(ア) 教職員人事評価制度の実施

改正地方公務員法に定める人事評価制度が令和元年度から本格実施となり、令和2年度以降は任期付職員・臨時的任用教職員等を含む全職員に関して評価結果の活用を行っている。

(イ) 評価結果の活用に関する検討会の開催

人事評価制度の評価結果の昇給への活用及び会計年度任用職員の評価結果の活用等に向けて、本庁内の人事評価制度の担当者による検討会を行った。

エ 課題を有する教員への対応

生徒の指導に携わる個々の教員の資質向上を図ることを目的として、病気・障害以外の理由で生徒の指導に際し著しく適切さを欠くなどの課題がある教員（指導力不足教員）の状況を把握した。なお、令和7年度は、指導力不足教員審査委員会の審査対象者はいなかった。

オ 学校の業務改善推進に関する取組

学校の業務改善を推進するため、学校経営計画書に業務改善に関する取組の明記を求めるとともに、効果的な取組について全校に共有した。また、勤務時間外における外線電話の自動音声対応、多忙化解消に向けた研究成果の活用推進及び夏季休業中の休暇取得促進日の設定について、効果的な取組として継続実施した。

カ 教職員定数と人事管理

「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」及び「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」等に基づき教職員定数の改善を図るとともに「教育活動の充実」、「教職員の資質向上」、「教育改革を推進する組織づくり」の観点から人事管理を行い、教育水準の向上に努めた。

キ 優秀な人材の確保

教員を目指す学生を増やすための取組として、県内外の大学に在学する教職を目指す学生に対し「教職ガイダンス」を開催した。また、将来的に教職を志す人材の掘り起こしを狙った「中・高生のための教職セミナー」や大学生に教員採用選考試験の概要を説明する「大学生のための

オンライン説明会」を開催するなどして、優秀な人材の確保に努めた。

ク 教員採用試験の改善

受験者の確保のため、令和 7 年度教員採用選考試験（令和 6 年度実施）より、例年 7 月に実施していた試験日程を早め、5 月に実施することとした。令和 8 年度教員採用選考試験（令和 7 年度実施）も 5 月に実施した。

3 評価・課題及び改善

（1）評価

指標名		現状値 (2024年度)	実 績	目標値 (2028年度)
			2025 年度	
成果 指標	自分の将来に対する夢や希望 を持っている生徒の割合	73.4%	74.3%	80.0%
成果 指標	「児童生徒と向き合う時間」や 「指導準備時間」が増えている と感じている教員の割合	56.8%	58.8%	70.0%
活動 指標	高校生による小中学生対象の 科学教室参加者	1,471人	1,417 人	1,200 人
活動 指標	国際数学・化学・生物・物理オリ ンピックへの出場者数	321人	288 人	500 人
活動 指標	地域等と連携して協働的・探究 的な学習を実施する高等学校の 割合	88校	88 校	88 校
活動 指標	外国人生徒等に対して必要な 支援が実現できている高校の 割合	100%	100%	100%
活動 指標	専門高等学校及び総合学科で 高度技術者の招聘を実施した 学校数	26校	26 校	36 校
活動 指標	A L Tによる授業を実施した 高等学校の割合	100%	100%	100%
活動 指標	地域等と連携して協働的・探究 的な学習を実施する学校数	88校	88 校	88 校
活動 指標	「文化の匠」派遣校数	81校	89 校	88 校
活動 指標	スクールカウンセラーの配置 人数	48人	48 人	54 人
活動 指標	スクールソーシャルワーカー の配置人数	14人	15 人	22 人
活動 指標	中高生を対象とした教職セミ ナー参加者数	高校生 91人	高校生 104 人	高校生 95 人

「個別最適な学び・協働的な学 び・探究的な学びの深化」 「優れた才能や社会に貢献する 力を伸ばす教育の充実」 「高校の魅力化・特色化」 「活力ある多文化共生社会の実	・県内高校生が、生徒主体の発表を通して、参加者と共に学び 合い、探究的学びの質の向上を図るとともに、高校教育にお ける探究的学びを推進することを目的とした「しずおか探究 フェスタ」を開催し、コンテスト、交流、展示の 3 部門に43 校が参加した。 ・プログラミング思考力や情報活用能力を身につけた、次世代
---	---

現に向けた教育環境の充実」 「社会的・職業的自立に向けた教育の推進」 「学校におけるスポーツ・文化活動の充実と健康教育の推進」 「グローバル人材の育成」 「多様性を尊重する教育の推進」 「個別の教育的ニーズに応じた支援」	のデジタル人材を育成するため、小中高校生対象のプログラミング講座を実施した。（参加人数39人） ・外国人の子どもの教育環境の充実については、外国にルーツを持つ生徒が進路に希望をもって学習に取り組めるよう、キャリアコンサルティング技能士及び日本語コーディネーターを支援対象校に巡回派遣し、172人の生徒支援を行った。 ・産業教育審議会答申が手交され、県が早急に取り組むべき施策、学校が展開すべき教育内容・方法、そして産業界との連携強化の具体的な方向性が示された。 ・マイスター・ハイスクール事業については、CEO及び産業実務家教員等を学校に配置し、ロボティクス分野で活躍できる人材の育成を図った。 ・「『文化の匠』派遣校数」は目標に達しており、事業を活用した9つの部活動で全国大会に出場した。 ・「ふじのくにグローバル人材育成基金」を活用した海外インターンシップに、28人の生徒が参加し、県内企業のグローバル展開を実感させることで、国際感覚を向上させるとともに、県内企業のグローバル化について理解を深めることができた。 ・「スクールカウンセラーの配置人数」について、48人（34校）を配置し、各校の要請に応じて派遣した。 ・共生・共育の推進については、併置する特別支援学校分校との交流活動を年間行事に位置づけて計画的に実施した。 ・通級指導に対する加配定数（9人）のうち、3人は静岡中央高校通信制課程の3キャンパスにそれぞれ配置し、残り6人を巡回通級指導に充てることにより、希望する学校（24校）に必要な人員を配置することができた。
「社会とともにある開かれた教育行政の推進」 「生涯を通じた学びの機会の充実」 「学びの充実に向けた教育環境の整備」 「学校施設等の安全・安心の確保と向上」	—

(2) 課題

「個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化」 「優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実」 「高校の魅力化・特色化」 「活力ある多文化共生社会の実現に向けた教育環境の充実」 「社会的・職業的自立に向けた教育の推進」 「学校におけるスポーツ・文化活動の充実と健康教育の推進」 「グローバル人材の育成」 「多様性を尊重する教育の推進」 「個別の教育的ニーズに応じた支援」	・プログラミング講座の受講生が次のステップ（高度な探究学習やプログラミングコンテストへの挑戦等）へ進むための動線設計が不可欠である。 ・外国人の子どもが将来の日本社会の有為な形成者となるよう教育環境の充実に向けて支援を行っていく必要がある。 ・産業教育審議会答申の提言を受け、本県専門高校等における教育内容の抜本的な改革や環境整備などの具現化に向けた取組を、適切な施策として着実に推進していく必要がある。 ・マイスター・ハイスクール事業について、文部科学省による委託期間が終了したが、指定校が取組を継続して進め、事業成果を県内全域へ波及させていく必要がある。 ・海外インターンシップは、大変有意義な研修である。令和7年度は42校70人から応募があり、希望がありながら参加できない生徒が多くいた。 ・生徒指導上の諸課題（不登校・いじめ等）が増加、背景が複雑化する中であって、心理業務に関する豊かな知識・経験を有する外部人材（スクールカウンセラー等）の配置充実が求められている。
「社会とともにある開かれた教育行政の推進」 「生涯を通じた学びの機会の充実」 「学びの充実に向けた教育環境の整備」 「学校施設等の安全・安心の確保と向上」	—

(3) 改善

「個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化」 「優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実」 「高校の魅力化・特色化」 「活力ある多文化共生社会の実現に向けた教育環境の充実」 「社会的・職業的自立に向けた教育の推進」 「学校におけるスポーツ・文化活動の充実と健康教育の推進」 「グローバル人材の育成」 「多様性を尊重する教育の推進」 「個別の教育的ニーズに応じた支援」	・平成24年度に作成された人間関係づくりプログラムを、OECD (H30) 等で示される非認知能力を体系的・系統的に学べるプログラムに改訂する。 ・プログラミング講座を「プログラミングの入り口」と位置づけ、他部局と連携し、県全体でDX人材を循環させる仕組みを構築していく必要がある。 ・日本語コーディネーター等の外部人材に頼るだけでなく、外国にルーツを持つ生徒に関わる教員に対する研修の充実等を通じて、外国人の子どもに対する教育環境の充実に向けた取組を進めていく。 ・産業教育審議会答申において求められている点について、令和8年度に具現策を検討する。 ・マイスター・ハイスクール事業について、地域産業界との連携の中で地域産業人材育成の「エコシステム」の自走化を図るため、運営委員会等を通じた指導・助言、取組支援等を行っていくとともに、事業成果を県内全域へ波及させていく方策について引き続き検討する。 ・複雑化等をする生徒指導上の諸課題に対応するため、学校規模に応じたスクールカウンセラー配置時数の見直しを進め、教育相談体制の一層の充実を図っていく。
「社会とともにある開かれた教育行政の推進」 「生涯を通じた学びの機会の充実」 「学びの充実に向けた教育環境の整備」 「学校施設等の安全・安心の確保と向上」	—

事業の根拠法令調

事業名	根拠法令
高等学校生徒修学奨励	高等学校等就学支援金の支給に関する法律 旧静岡県高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則
県立高等学校生徒募集計画の策定及び学科改善	学校教育法施行規則（第80条） 高等学校設置基準 公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則
入学者選抜	学校教育法施行規則（第90条） 静岡県高等学校学則（第11条）
発達障害等の生徒支援調査研究事業	学校教育法 学校教育法施行規則 高等学校学習指導要領 発達障害者支援法 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律
県立高等学校の授業力向上・学校運営支援等	教育公務員特例法（第21～24条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第18条第3項、第21条第5号、第21条第8号） 高等学校学習指導要領 産業教育振興法 静岡県産業教育審議会条例 静岡県産業教育審議会会議規則
教職員の定数と人事管理	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第23条3号） 学校教育法（第60条、第61条） 教育公務員特例法（第11条、第13条） 公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律 静岡県教職員定数条例

職員の年齢調

(令和 8 年 4 月 1 日現在)

年 齢	人 員	摘 要
2 0 歳未満	0 人	
2 0 歳以上 3 0 歳未満	2 人	
3 0 歳以上 4 0 歳未満	7 人	
4 0 歳以上 5 0 歳未満	29人	
5 0 歳以上 5 6 歳未満	5 人	
5 6 歳以上 6 1 歳未満	1 人	
6 1 歳以上	0 人	
計	44人	平均年齢 43. 6歳

健康 管理

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 43 人 職員数 44 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

育児休業中

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0(0)人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0(0)人
B 2		要経過観察	0(0)人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	10(10)人
C 2		要経過観察	15(15)人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	18(18)人
D 2		要経過観察	0(0)人
D 3		医 療 不 要	0(0)人
区 分 者 計			43(43)人
未区分者数			1(1)人
合 計			44(44)人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 1人
イ 新規採用 人
ウ 自己都合による未受診 人
エ その他 () 人

職 員 配 置 調

(令和 8 年 4 月 1 日現在)

区 分		学校支援班	学校づくり 推進班	指導第 1 班	指導第 2 班	人事班	計
配 置 職 員	職員（事務）	5	3	1	1	2	12
	職員（教育）	1	6	9	8	8	32
	計	6	9	10	9	10	44
	会計年度任用職員	9		3			12
	計	9		3			12
合 計		15	9	13	9	10	56

過年度分収入未済額調

(令和8年3月31日現在)

区分 年度	全日制高等学校 授業料		定時制高等学校 授業料		通信教育 授業料		高等学校等奨学金 返還金	
	件数	収入未済額	件数	収入未済額	件数	収入未済額	件数	収入未済額
令和元年度 以前(A)	1	円 32,923	5	円 73,553	3	円 18,480	0	円 0
令和2年度	0	0	2	52,115	2	14,532	0	0
令和3年度	0	0	3	86,130	9	67,872	0	0
令和4年度	0	0	2	107,880	5	35,616	0	0
令和5年度	1	29,700	2	59,160	4	29,736	0	0
令和6年度			6	118,755	6	29,904	0	0
計	2	62,623	20	497,593	29	196,140	0	0
摘要① (滞納処分の停止等の理由)								
摘要② (不納欠損処分の件数、額)								
摘要③ (A欄のうち、1件10万円以上の内訳)								

過年度分収入未済額調

(令和8年3月31日現在)

区分 年度	教育奨学金 返還金		定時制課程等 修学資金返還金		雑収			
	件数	収入未済額	件数	収入未済額	件数	収入未済額	件数	収入未済額
令和元年度 以前(A)	136	円 10,329,406	2	円 266,000	129	円 1,793,611		円
令和2年度	25	1,660,126	0	0	27	590,854		
令和3年度	31	1,672,015	0	0	47	2,533,005		
令和4年度	36	1,859,056	1	154,000	58	2,252,646		
令和5年度	71	3,320,519	0	0	69	2,023,894		
令和6年度	103	5,614,000	2	224,000	103	3,069,093		
計	402	24,455,122	5	644,000	433	12,263,103		
摘要① (滞納処分の停止等の理由)								
摘要② (不納欠損処分の件数、額)								
摘要③ (A欄のうち、1件10万円以上の内訳)								

預 金 調

(令和8年3月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
静岡銀行 県庁支店	無利息型 普通預金	0320060	教育委員会高校教育課 資金前渡者 高校教育課長	0	給与
静岡銀行 県庁支店	無利息型 普通預金	0320037	(自振口)教育委員会高校教育課 資金前渡者 高校教育課長	0	電話料等 振替
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和8年3月31日現在)

(単位：枚、円)

高校教育課

同区教育課		令和6年度						令和7年度						差引現在高		摘要
区分	種類	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
タクシーチケット	静岡市タクシー事業協同組合	0		30		13 17 0		0		30		3 27 0		0		移動用
計		0		30		13 17 0										

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額（円）		
					令和6年度	令和7年度	うち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	知事直轄組織費	知事直轄組織費	デジタル戦略費		5,000,000	0
	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		4,340,000	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		9,338,061	0
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		59,623,112	0
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		2,700,000	0
計					62,991,383	81,001,173	0
(14) 工事請負費						0	0
計					0	0	0
(16) 公有財産購入費						0	0
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	知事直轄組織費	知事直轄組織費	デジタル戦略費		0	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費			0
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		1,785,245	0
計					12,399,035	1,785,245	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		480,705,060	0
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		20,619,615	0
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		2,500,000	0
計					378,927,770	503,824,675	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	0
計					0	0	0

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計 金額	契約金額		
				当初額	変更増減額	計
	(事務関係)		円	円	円	円
1	スクールネットパト ロール業務委託	株式会社ジールコ ミュニケーションズ	5,378,450	2,288,000		2,288,000
2	高等学校奨学金等債権 回収業務委託	弁護士法人 ライズ綜 合法律事務所	7,219,000	6,671,275		6,671,275
3	「公立高校をめざすあ なたへⅠ」印刷及び発 送業務委託	星光社印刷株式会社	989,065	835,758		835,758
4	静岡県公立高等学校入 学者選抜実施要領印刷 及び発送業務委託	有限会社橋本印刷所	776,226	731,566		731,566
5	入学者選抜学力検査用 コンパクトディスク複 写業務委託	高速録音株式会社	99,847	99,847		99,847
6	静岡県立高等学校入学 願書等印刷及び発送業 務委託	有限会社橋本印刷所	420,420	420,420		420,420
7	静岡県公立高等学校入 学者選抜合格者発表Web システム運用支援業務 委託	株式会社静岡情報処 理センター	2,921,875	2,921,875		2,921,875
8	静岡県探究学習推進Web サイト（探Qラボ Shizuoka）運用業務委 託	株式会社フュー チャーイン静岡支社	233,772	233,772		233,772
9	オンライン国際交流プ ログラム運営業務委託	株式会社With The World	4,950,000	4,950,000		4,950,000
	頁 計	9 件	22,988,655	19,152,513		19,152,513

関 する 調

(令和7年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
一般	R7. 5. 26～ R8. 3. 31	R8. 5. 11	円 2,288,000	学校非公式サイト調査・観察、投稿内容の削除、削除依頼の代行、研修会の実施、最終報告会の実施	—
一般	R7. 8. 22～ R10. 3. 31	R7. 10. 31 R7. 11. 28 R7. 12. 25 R8. 1. 30 R8. 2. 27 R8. 3. 31 R8. 4. 30 小計	303,613 507,222 496,233 248,304 47,479 60,722 85,342 1,748,915	奨学金貸付金等未収金に係る債権回収業務(成功報酬制)	R7債務
随契	R7. 6. 16～ R7. 7. 11	R7. 8. 12	835,758	「公立高校をめざすあなたへⅠ」の印刷及び発送業務	随契1号 (少額)
随契	R7. 8. 7～ R7. 9. 16	R7. 10. 17	731,566	静岡県立高等学校入学者選抜実施要領の印刷及び発送業務	随契1号 (少額)
随契	R7. 10. 7～ R8. 1. 9	R8. 1. 19	99,847	学力検査用コンパクトディスクの複写	随契1号 (少額)
随契	R7. 10. 17～ R7. 11. 10	R8. 1. 16	420,420	静岡県立高等学校入学願書等印刷及び発送業務	随契1号 (少額)
随契	R7. 12. 11～ R8. 3. 31	R8. 4. 17	2,921,875	静岡県公立高等学校入学者選抜合格者発表Webシステム運用支援業務	随契2号 (不適)
随契	R7. 5. 30～ R8. 3. 31	R8. 4. 30	233,772	静岡県探究学習Webサイト(探Qラボ Shizuoka) 運用業務	随契1号 (少額)
随契	R7. 12. 5～ R8. 3. 31	R8. 4. 27	4,950,000	オンライン国際交流プログラム運営業務	随契2号 (不適)
			14,230,153		

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計 金額	契約金額		
				当初額	変更増減額	計
10	高校生就職マッチング 対策事業業務委託	株式会社東海道シグ マ	19,999,980	19,999,980		19,999,980
11	外国人生徒みらいサ ポート事業業務委託	株式会社東海道シグ マ	14,383,622	14,383,622		14,383,622
12	イノベーションラボ事 業業務委託	一般社団法人OWN WAY	3,987,971	3,987,971	△184,733	3,803,238
13	高校生海外インターン シップ推進事業に係る 研修旅行手配業務委託	株式会社エイチ・ア イ・エス中部事業部	6,852,760	5,379,000		5,379,000
14	静岡県高等学校定時 制・通信制生徒合同文 化祭開催事業委託	静岡県高等学校定通 教育振興会	1,320,000	1,320,000		1,320,000
15	静岡県高等学校総合文 化祭開催事業業務委託	静岡県高等学校文化 連盟	2,700,000	2,700,000		2,700,000
	頁 計	6 件	49,244,333	47,770,573	△ 184,733	47,585,840

関 する 調

(令和7年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
随契	R7. 4. 24～ R8. 3. 31	R7. 6. 16 R7. 7. 24 R7. 8. 22 R7. 9. 22 R7. 10. 21 R7. 11. 21 R7. 12. 25 R8. 1. 23 R8. 2. 27 R8. 4. 20 小計	2, 213, 587 1, 773, 688 1, 773, 688 1, 773, 697 1, 773, 688 1, 823, 188 1, 773, 688 1, 773, 688 1, 773, 688 3, 547, 380 19, 999, 980	高校卒業後就職を希望する生徒等への就職支援	随契2号 (不適)
随契	R7. 5. 20～ R8. 3. 31	R7. 7. 9 R7. 7. 15 R7. 8. 22 R7. 9. 22 R7. 10. 21 R7. 11. 21 R7. 12. 25 R8. 1. 23 R8. 2. 27 R8. 4. 20 小計	1, 254, 946 1, 503, 612 1, 553, 046 1, 124, 860 1, 566, 576 1, 571, 086 1, 507, 550 1, 312, 630 1, 517, 846 1, 471, 470 14, 383, 622	日本語能力に課題のある外国人生徒に対する日本語学習講座の実施や個別支援プラン作成業務委託	随契2号 (不適)
随契	R7. 6. 11～ R7. 10. 31	R7. 12. 24	3, 803, 238	県内企業等の潜在的な資源・技術等を教材とした短期的な教育プログラムの実施業務	随契2号 (不適)
一般	R7. 7. 16～ R7. 10. 31	R7. 12. 25	5, 379, 000	高校生海外インターンシップにおける旅行手配業務	—
随契	R7. 9. 3～ R8. 2. 27	R8. 9. 30	1, 320, 000	静岡県高等学校定時制・通信制生徒合同文化祭の開催	随契2号 (不適)
随契	R7. 6. 4～ R8. 3. 31	R7. 6. 19	2, 700, 000	静岡県高等学校文化祭（演劇、合唱、美術、放送、新聞等22部門）の開催	随契2号 (不適)
			47, 585, 840		

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計 金額	契約金額		
				当初額	変更増減額	計
16	「ラーケーション」に 関する動画等コンテン ツ作成業務委託	株式会社静岡新聞社	1,000,000	1,000,000		1,000,000
17	「静岡県国際バカロ レ教育ポータルサイ ト」構築業務委託	株式会社フュー チャーイン静岡支社	874,500	874,500		874,500
18	探究学習を加速するD Xスキルアップ教員対 象研修業務委託	株式会社JTB静岡 支店	9,999,000	9,999,000		9,999,000
19	未来の扉を開く！小中 高生プログラミング鋼 材業務委託	ライフイズテック株 式会社	5,000,000	5,000,000		5,000,000
20	就学支援金等通知作成 業務委託	小林クリエイト株式 会社静岡支社	1,716,000	1,509,056		1,509,056
21	臨時支援金通知作成業 務委託	小林クリエイト株式 会社静岡支社	792,880	733,040	69,584	802,624
	頁 計	6件	19,382,380	19,115,596	69,584	19,185,180
	事務関係計	21 件	91,615,368	86,038,682	△ 115,149	85,923,533
	合 計	21 件				

関 する 調

(令和 7 年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
随契	R8. 1. 23～ R8. 3. 31	R8. 4. 30	1, 000, 000	ラーケーションに関する動画等コンテンツ作成業務	随契 1 号 (少額)
随契	R8. 3. 10～ R8. 3. 27	R8. 5. 26	874, 500	「静岡県国際バカロレア教育ポータルサイト」の構築業務	随契 1 号 (少額)
随契	R7. 6. 20～ R8. 3. 19	R8. 4. 24	9, 999, 000	県内高等学校の教員を対象としたDXスキルアップ研修の開催	随契 2 号 (不適)
随契	R7. 7. 4～ R7. 12. 26	R8. 2. 24	5, 000, 000	県内の小・中・高校生を対象に、デジタル人材の育成に資することを目的としたプログラミング講座の開催	随契 2 号 (不適)
随契	R7. 5. 16～ R8. 1. 30	R8. 1. 30	1, 509, 056	就学支援金等通知はがきの印刷	—
随契	R7. 9. 12～ R7. 12. 19	R7. 12. 24	802, 624	就学支援金等通知はがきの印刷	—
			19, 185, 180		
			81, 001, 173		
			81, 001, 173		

補 助 金

整理 番号	対象事業名	交 付 先	補助の根拠	事業の実績	総事業費
1	全国高等学校総合文化祭派遣事業費補助金	静岡県高等学校文化連盟 1件	全国高等学校総合文化祭派遣事業費補助金交付要綱	全国高等学校総合文化祭へ生徒を派遣する経費の一部を助成する。	円 2,500,000
2	高校生の留学促進事業費補助金	県内高等学校の海外留学を希望する生徒 64件	高校生の留学促進事業費補助金交付要綱	高等学校生徒の留学に要する経費を負担している者に対する補助事業	660,000
3	高等学校遠距離通学費補助金	県立高等学校生徒の通学費負担者 96件	高等学校遠距離通学費補助金交付要綱	高等学校生徒の遠距離通学に要する経費を負担している者に対する補助事業	2,861,000
4	定通教育振興費補助金	静岡県高等学校定通教育振興会 2件	定通教育振興費補助金交付要綱	静岡県高等学校定時制教育及び通信制教育の振興を図るため、教育振興会に対し活動経費の一部を助成する。	570,000
5	ものづくり等世界大会参加支援事業費補助金	県内の職業系専門高校に在籍し、ものづくりに関する世界大会に出場資格を得た生徒 3件	ものづくり等世界大会参加支援事業費補助金交付要綱	ものづくりに関する世界大会に出場資格を得た生徒が大会に参加するための経費の一部を助成する。	900,000
合 計		5件			7,491,000

支 出 調

(令和7年度)

補助金額	補助率	交付決定		交付		事業完了		摘要
		年月日	金 額	年月日	金 額	年月日	確認年月日	
円 2,500,000	経費の2分の1以内(上限250万円)	R7.7.3	円 2,500,000	R7.9.18	円 2,500,000	R7.8.27	R7.9.1	
660,000	上限6万円	R7.7.24	660,000	R7.11.21	660,000	R7.8.18	R7.8.18 (R7.9.25)	
2,861,000	定額控除後の1/2以内	R7.8.28 R7.9.11 R7.9.17 R7.10.30 R7.12.2 R7.12.5 R8.1.7 R8.1.28 R8.2.5 R8.2.26 R8.3.6 R8.3.13 R8.3.30	2,957,000 △ 19,000 △ 23,000 △ 20,000 △ 3,000 1,000 5,000 △ 8,000 5,000 △ 9,000 △ 2,000 △ 2,000 △ 21,000	R7.9.30 R7.10.3 R7.10.10 R7.10.24 R8.3.31 R8.4.30 R8.5.8	1,356,000 7,000 16,000 10,000 505,000 913,000 54,000	R8.4.13	R8.4.13	
570,000	—	R7.8.8	570,000	R7.8.22 R8.3.31 小計	399,000 171,000 570,000	R8.3.31	R8.3.31	
900,000	上限30万円	R7.9.26	900,000	R7.6.30	900,000	R7.8.29	R7.8.29	
7,491,000			7,491,000		7,491,000			

負 担 金

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負 担 根 拠
1	電子マニフェストシステム利用 基本料	公益財団法人日本産業廃棄物処 理振興センター	電子マニフェストシステム加 入規約
2	ふじのくに地域・大学コンソー シアム年会費	公益社団法人ふじのくに地域・ 大学コンソーシアム	公益社団法人ふじのくに地域・大学 コンソーシアム会費等に関する規則
3	高校魅力化担当官負担金	株式会社C＆Yパートナーズ	高校魅力化担当官受入実施要綱
4	特別教諭招請負担金	ジヤトコ株式会社	特別教諭受入実施要綱
5	特別教諭招請負担金	矢崎部品株式会社	特別教諭受入実施要綱
	頁 計	5 件	

支 出 調

(令和7年度)

事 業 内 容	負 担 金 額	支出年月日
産業廃棄物の排出から処理までの適正管理	1,980	R7. 4. 28
高等教育機関相互の連携を深め、教育力及び研究力の一層の向上を図り、地域社会の発展に寄与する。	100,000	R7. 4. 25
高校魅力化や学校の課題解決を進めていくうえで、民間企業等から、先進的な取組を学校経営に取り入れるため、幅広い経験や専門性を持つ民間人材を高校魅力化担当官として企業等からの出向により招へいする。	238,395 233,632 190,716 212,394 66,752 200,256 212,394 222,504 200,256 231,101 225,180 245,511	R7. 5. 30 R7. 6. 25 R7. 7. 22 R7. 9. 5 R7. 9. 18 R7. 10. 31 R7. 11. 28 R7. 12. 23 R8. 1. 30 R8. 3. 9 R8. 3. 27 R8. 4. 24
産業界から専門高校への特別教諭招請事業	404,796 405,113 404,838 1,437,728 405,063 404,192 404,856 405,077 1,438,891 404,279 404,422 404,127	R7. 5. 30 R7. 6. 19 R7. 7. 22 R7. 8. 19 R7. 9. 18 R7. 10. 29 R7. 11. 25 R7. 12. 23 R8. 1. 30 R8. 2. 27 R8. 3. 27 R8. 4. 24
産業界から専門高校への特別教諭招請事業	350,712 350,712 1,075,128 350,712 350,712 350,712 350,712 350,712 1,075,128 350,712 350,712 636,579	R7. 5. 30 R7. 6. 19 R7. 7. 22 R7. 8. 19 R7. 9. 18 R7. 10. 29 R7. 11. 25 R7. 12. 23 R8. 1. 30 R8. 2. 27 R8. 3. 27 R8. 4. 24
	15,447,696	

負 担 金

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負 担 根 拠
6	東海地方公立高等学校事務職員 研究協議会研究大会参加費	東海地方公立高等学校事務職員 研究協議会	東海地方公立高等学校事務職員 研究協議会研究大会開催要項
7	共同研究負担金	国立大学法人静岡大学	共同研究契約書
8	全国公立高等学校事務職員研究 大会参加費	全国公立高等学校事務職員研究 大会	全国公立高等学校事務職員研究 大会実施要項
9	国際バカロレアDP候補校年会 費	国際バカロレア機構	Rules for IB candidate shools (IB候補校のための規則)
10	高等学校等就学支援金	沼津市 富士市 静岡市 浜松市 令和6年度生1名 令和5年度生1名	高等学校等就学支援金の支給に関する法律
11	国際バカロレアDPワーク ショップ受講料	国際バカロレア機構	IB's PD offerings and pricing (IB教員研修の開講講座と受講料)
12	全国産業教育主管課長連絡会負担金	全国産業教育主管課長連絡会	全国産業教育主管課長連絡会規約
13	高校生等臨時支援金	沼津市 富士市 静岡市 浜松市	高校生等臨時支援金事務処理要綱
	頁 計	8 件	

支 出 調

(令和7年度)

事 業 内 容	負 担 金 額	支出年月日
学校における教育を取り巻く諸問題を研究協議することで、事務職員の資質向上を図り、学校教育の目的達成に寄与する。	40,000	R7.6.24
不祥事対策に係わる学校環境把握のための実態調査及び共同研究	150,000	R8.4.28
学校における教育諸問題について研究協議し、学校事務の合理化を図り、学校事務関係職員の資質を高め、学校教育の目的遂行に寄与する。	85,000	R7.6.13
国際バカロレア機構のコンサルタントによる助言や学校訪問により、国際バカロレア認定校申請に向けた準備を行う。	1,473,390	R7.4.25
高等学校等の生徒の授業料	13,978,800	R7.7.25
	22,987,800	R7.10.24
	18,374,400	R8.1.26
	17,582,400	R7.7.25
	29,056,500	R7.10.24
	23,086,800	R8.1.26
	35,006,400	R7.7.25
	56,994,300	R7.10.24
	45,579,600	R8.1.26
	267,300	R8.3.27
	20,314,800	R7.7.25
	32,719,500	R7.10.24
	26,017,200	R8.1.26
	89,100	R7.10.31
	89,100	R8.1.30
国際バカロレア教員の授業実施のための研修	102,674	R7.6.2
	328,330	R7.8.14
	447,557	R8.2.9
公立学校産業教育施設・設備に関する情報の交換及び調査研究	1,000	R7.11.20
高等学校等の生徒の授業料	16,097,400	R7.11.21
	13,691,700	R7.11.21
	53,262,000	R7.11.21
	51,945,300	R7.11.21
	479,768,351	

負 担 金

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負 担 根 拠
14	産業・情報技術等指導者養成研修負担金	独立行政法人教職員支援機構	産業・情報技術等指導者養成事業実施要項
15	外国青年招致事業に係る人員割合費、傷害保険負担金	一般財団法人自治体国際化協会	一般社団法人自治体国際化協会規則
16	高等学校等就学支援金事務費負担金	沼津市	静岡県市立高等学校就学支援金事務費負担金支給要領
	頁 計	3 件	
	合 計	16件	

支 出 調

(令和7年度)

事 業 内 容	負 担 金 額	支出年月日
学校における実習等の授業の質の向上を図るため、急速に発展・進歩する産業技術、情報技術等について、情報化・技術革新その他社会情勢の変化に適切に対応した最新の知識・技術を習得させる。	290,230	R7. 1. 30
外国青年招致事業における新規招待者の受け入れ・再任用に伴う人員割合費及び傷害保険負担金	791,948	R8. 2. 20
高等学校等就学支援金に関して行う事務の執行に要する事務費	35,450	R8. 2. 26
	1,117,628	
	496,333,675	

公 有 財 産 調

(令和7年度)

区分	令和7年3月31日 現 在		増		減		令和8年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
公有財産 に準ずる もの		千円 273						千円 273	
電話 加入権	件 5	273	件		件		件 5	273	

※電話加入権…春野5件

基金の管理状況調

公立高等学校教育改革促進基金

(令和7年度現在)

保 管 区 分	令和6年度末 現 在 高	年度中増減高			令和7年度末 現 在 高	摘 要
		増	減	差引増減高		
定期預金	円 0	円 60,000,000	円 0	円 60,000,000	円 60,000,000	
計	0	60,000,000	0	60,000,000	60,000,000	

債権（貸付金等）の管理状況調

(令和 7 年度)

区分	令和 6 年度末 現在額		期間中				令和 7 年度末 現在額	
			増		減			
	件数	金額 円	件数	金額 円	件数	金額 円	件数	金額 円
高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金	108	25, 578, 000	57	20, 748, 000	53	18, 872, 000	112	27, 454, 000
高等学校等奨学金	6	444, 600	0	0	1	147, 600	5	297, 000
教育奨学金	1, 022	288, 788, 900	29	9, 432, 000	185	55, 212, 300	866	243, 008, 600
計	1, 136	314, 811, 500	86	30, 180, 000	239	74, 231, 900	983	270, 759, 600

備 品 ・ 図 書 調

(令和7年度)

区 分	令和7年3 月31日現在	増		減		令和8年3 月31日現在
	数 量	数 量	購入価格	数 量	売却価格	数 量
1－4 収納保管庫類	2	(1) 3	円 0	(0) 0	円 0	5
1－7 書類整理器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
1－10 印判類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
2－1 情報処理機器類	24	(0) 0	0	(0) 0	0	24
2－2 情報伝達機器類	0	(0) 10	1,785,245	(0) 0	0	10
50－1 図書	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
計	37	(1) 13	1,785,245	(0) 0	0	50

主 要 備 品 調

(令和8年3月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	1－4	書類収納庫	書類収納庫	事務用 常時使用	昭和61年6月	円 510,500
2	1－4	書類収納庫	書類収納庫	事務用 常時使用	昭和61年6月	478,600
3	1－4	書類収納庫	ユニット書庫	事務用 常時使用	平成4年3月	319,000
4	1－4	書類収納庫	スライド式 ユニット書庫	事務用 常時使用	平成4年3月	319,000
5	1－4	書類収納庫	ユニット書庫	事務用 常時使用	平成4年3月	319,000
6	2－1	その他の情報処理 機器	カードプリンター CX-G2400	事務用 常時使用	令和2年3月	317,900
7	2－2	その他の情報伝達 機器	75型ディスプレイ	事務用 常時使用	令和8年3月	296,010
8	2－2	その他の情報伝達 機器	75型ディスプレイ	事務用 常時使用	令和8年3月	296,010
9	1－7	裁断機	シュレッダー 500×500×850	事務用 常時使用	平成11年2月	233,000
10	2－1	ノートパソコン	ノートパソコン	事務用 常時使用	令和2年11月	217,690
11	2－1	ノートパソコン	ノートパソコン	事務用 常時使用	令和4年8月	204,600
12	2－2	その他の情報伝達 機器	WEBカメラ	事務用 常時使用	令和8年3月	203,445
13	2－1	ノートパソコン	タブレット パソコン	事務用 常時使用	令和2年11月	201,630